東邦アセチレン株式会社

環境報告書 2020

Environmental Report 2020

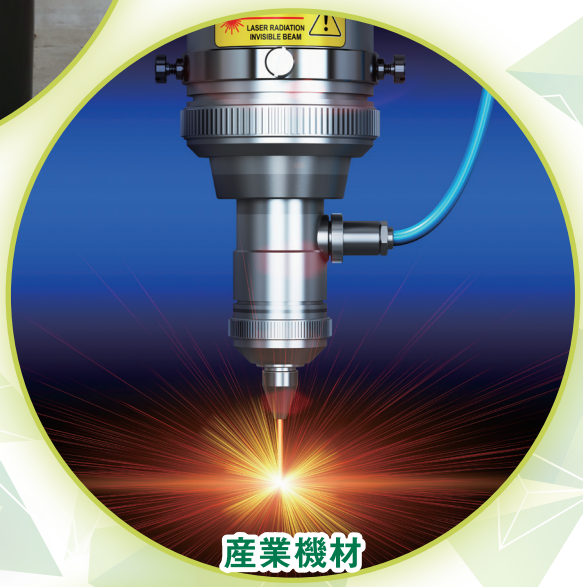
当社は、酸素・窒素・水素・アセチレンなどの
一般工業ガスの製造販売、
LPガスなどの民生用ガス、およびガス応用製品、溶接・溶断などの
ガス関連機器の販売を中心に事業展開しています。



高圧ガス関連



石油ガス関連



産業機材



メディカル



ガス応用製品（エスプーマ等）

TOP MESSAGE トップメッセージ

『責任のある企業』として
環境負荷低減に努め、
従業員の健康・安全に留意した
事業活動を通じて、
社会に貢献していきます。





環境方針

東邦アセチレン及び関係会社は、環境問題が人類共通の最重要課題であるとの認識のもと、すべての企業活動において、環境保全と経済発展が調和した社会の実現に貢献するため、以下の方針に基づき環境管理に取り組みます。

1. 省エネルギー及び省資源・リサイクルにより、環境の保全・向上に努めます。
2. 環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守します。
3. 事故・災害及び環境汚染の予防に努めます。
4. 環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。

2020年6月29日　東邦アセチレン株式会社
取締役社長　池田 悦哉

環境管理システム

当社は、グループ会社のガバナンス強化の一環として、2019年度より環境管理組織を
当社が100%出資する全ての事業会社全事業所へ拡大いたしました。
当社の環境管理体制は以下のとおりです。

社　長

環境責任者（環境委員長）

事務局
（環境保安・品質保証部）

環境委員会

本　社

事（営）業所

グループ会社

東邦北海道(株)
東邦福島(株)
東邦岩手(株)
東邦新潟(株)
東邦興産(株)
タガワ(株)

生産工場

北日本ｱｾﾁﾚﾝ(株)
八戸共同酸素(株)
東邦酒田水素(株)
多賀城工場
(株)いわき共同GC

※黄色文字：新たに加入した事業会社（2社）



法令遵守

当社では2006年9月に「東邦アセチレングループCSR憲章」を制定し、
環境問題への取組みを強化しています。
取組みの一環として環境保安・品質保証部が中心となり、
各事(営)業所・グループ会社に対して定期的に環境保安監査を実施し、
法令遵守、労働安全衛生、場内環境状況等の確認・指導を行っています。
また、環境法令改正等の情報は随時発信し、周知徹底を図っています。

東邦アセチレングループCSR憲章

2006.9.制定

東邦アセチレングループは、企業倫理と遵法の精神に基づいた企業活動を行うことを自らの社会的責任と考え、あらゆるステークホルダーから真にその存在を認められる企業を目指すために、ここに「東邦アセチレングループＣＳＲ憲章」を制定し、社会的良識をもって、持続可能な社会の創造に向けて自主的に行動する。

1. 社会に有用な製品・サービスを安全性や品質に十分配慮して開発、提供するとともに、製品・サービスに関する適切な情報を提供し、消費者・顧客の満足と信頼を獲得する。
2. 関係法令を遵守し、公正、透明、自由な競争ならびに適正な取引を行う。
   また、政治、行政、取引先等とは健全かつ正常な関係を維持する。
3. 環境問題への取り組みは人類共通の課題であり、企業の存在と活動に必須の要件であることを認識し、企業活動全般にわたり自主的、積極的に環境保全に取り組む。
4. 株主はもとより、広く社会とのコミュニケーションを行い、企業情報を積極的かつ公正に開示する。
5. 安全で働きやすい職場環境を確保するとともに、すべての社員の多様性、人格、個性を尊重し、不当な差別の無い明るい職場づくりを目指す。
6. 自社の情報およびお客様の情報の適切な管理と保護を徹底する。
7. 「良き企業市民」として、積極的に社会貢献活動を行う。
8. 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会勢力および団体とは断固として対決する。
9. 国際社会の一員として、国際ルールや現地の法律の遵守はもとより、現地の文化や慣習を尊重し、その発展に貢献する経営を行う。
10. 経営トップは、本憲章の精神の実現が自らの役割であることを認識し、率先垂範の上、社内に徹底するとともに、グループ企業や取引先に周知させる。また、社内外の声を常時把握し、実効ある社内体制の整備を行うとともに、企業倫理の徹底を図る。
11. 本憲章に反するような事態が発生したときには、経営トップ自らが問題解決にあたる姿勢を内外に明らかにし、原因究明、再発防止に努める。また、社会への迅速かつ的確な情報の公開と説明責任を遂行し、権限と責任を明確にした上、自らを含めて厳正な処分を行う。

(注)CSR:Corporate Social Responsibility(企業の社会的責任)

ISO認証工場

審査機関：高圧ガス保安協会
ISO審査センター
登録範囲：液化酸素、液化窒素、
液化アルゴン、
水素ガスの製造
登録番号：05ER-496
登　録　日：2005年1月21日
更　新　日：2017年1月21日

ISO14001 05ER-496

当社環境活動のレベルアップおよび顧客満足度向上を図るため、生産・技術本部多賀城工場液化ガス製造課(液化酸素・窒素・アルゴン製造工場)、および、付属組織として関係会社である東邦酒田水素（株）（水素ガス製造工場）において、2005年1月に国際規格ISO14001の認証を取得しました。

なお、多賀城工場液化ガス製造課および東邦酒田水素(株)は、それぞれ2000年、2002年に単独で国際規格ISO9001の認証も取得しております。

両規格とも2015年版規格へ移行が完了しております。

ISO認証工場



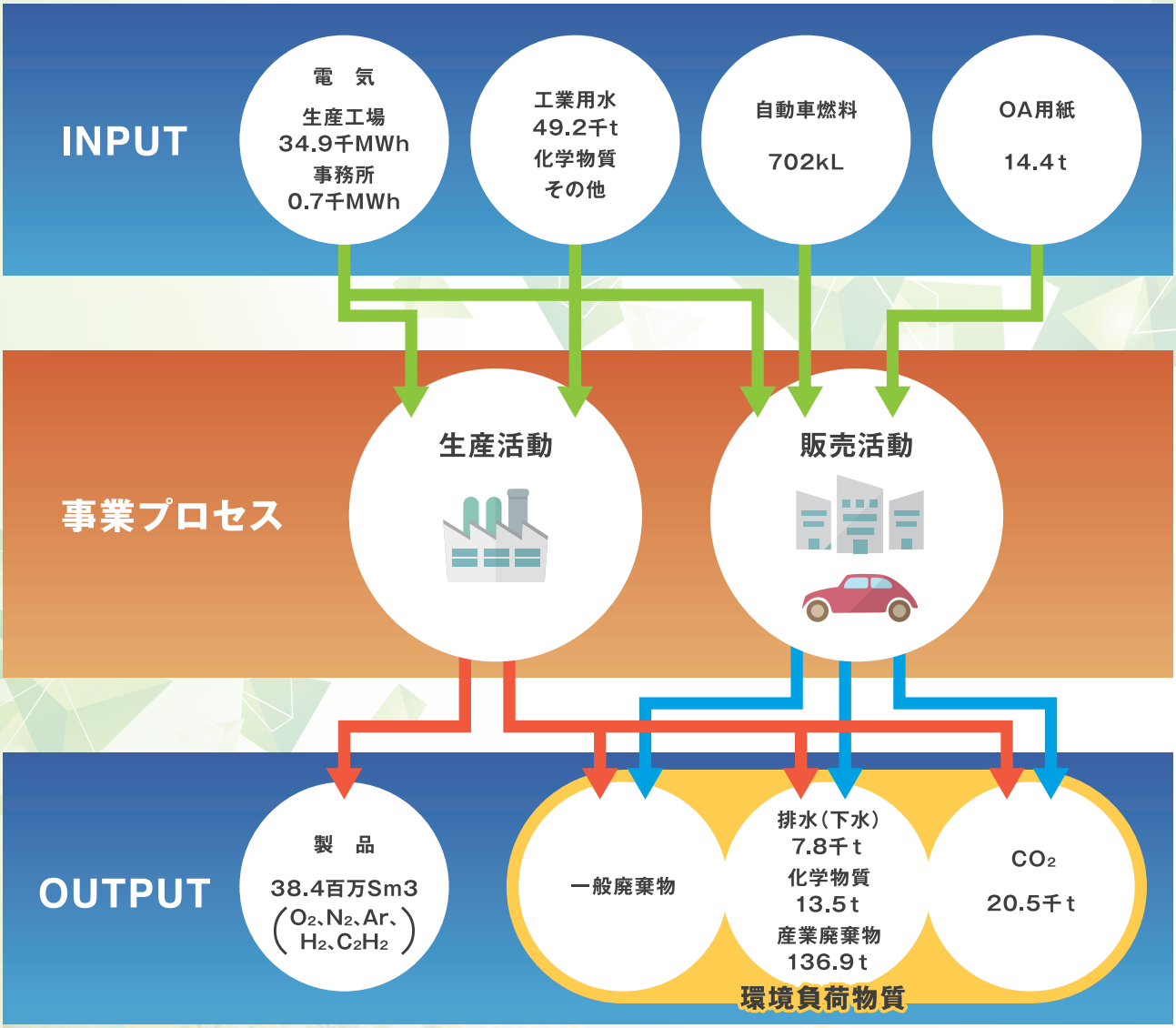
多賀城工場
液化ガス製造課



東邦酒田水素
株式会社

事業活動における環境負荷

事業活動と環境負荷の全体像（2019年度）

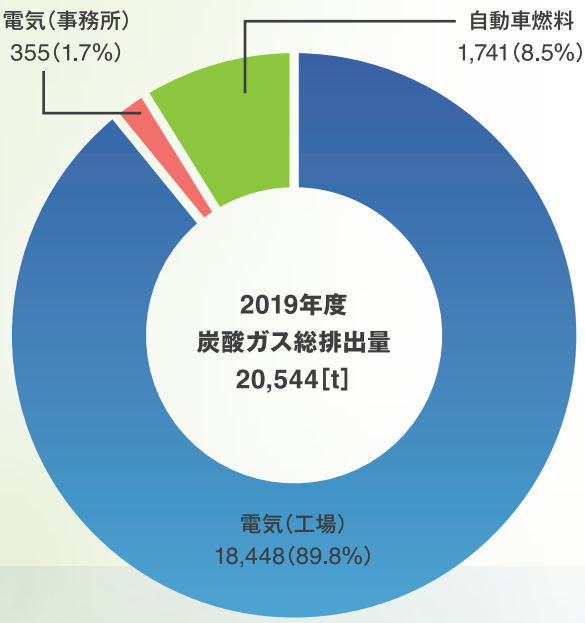




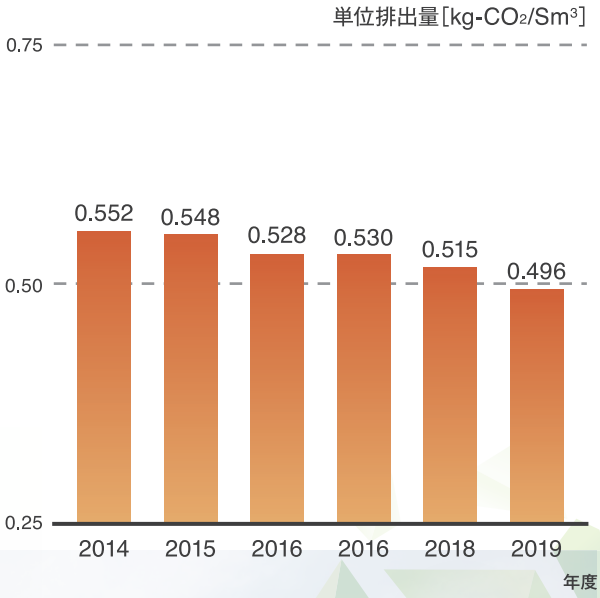
炭酸ガス排出量

東邦アセチレングループの事業活動における主要エネルギーは、
電気および自動車燃料であり、炭酸ガス排出量に換算すると、電気使用量の占める割合は91.5%（内、多賀城工場の占める割合は85.7%）に達しています。
地球温暖化防止のため、省エネルギー活動を積極的に推進し、炭酸ガス排出量の削減に取り組んでいます。

主要エネルギーによる炭酸ガス排出量（注1）



多賀城工場における単位生産量当たりの炭酸ガス排出量の推移（注2）



（注1）・電気使用による炭酸ガス排出量は東北電力(株)が発表した2018年度の数値を用いて換算しています。
（「温対法のCO_2排出量算定・報告に関する東北電力のCO_2排出係数」による）
電気使用による炭酸ガス排出量 ＝ 0.528[t-CO_2/MWh]
・自動車燃料使用による炭酸ガス排出量は「地球温暖化防止対策推進に関する法律施行令」別表1の数値を用いて換算しています。
ガソリン使用による炭酸ガス排出量 ＝ 2.32[t-CO_2/kL]　軽油使用による炭酸ガス排出量 ＝ 2.58[t-CO_2/kL]
（注2）・各年度の電気使用における炭酸ガス排出量は東北電力（株）が発表した2018年度の数値を用いて換算しています。

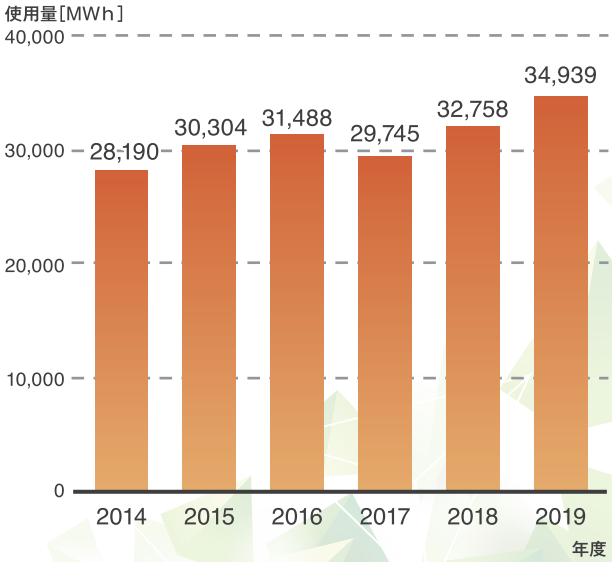


電気使用量の削減

■生産工場における電気使用量の削減

東邦アセチレングループの主な事業である産業ガスの生産には多くの電気を使用するため、各生産工場において省エネ機器の採用等、電力原単位向上による電気使用量の削減に取り組んでいます。2019年度は管理対象が2社増えたため、前年度と比較し、6.7%増となりました。
一方、当社生産工場の電力原単位に関しては多賀城工場の生産量増加に伴う稼働率の増加から、環境目標「前年度比1.0%削減」に対し、3.7%減となりました。

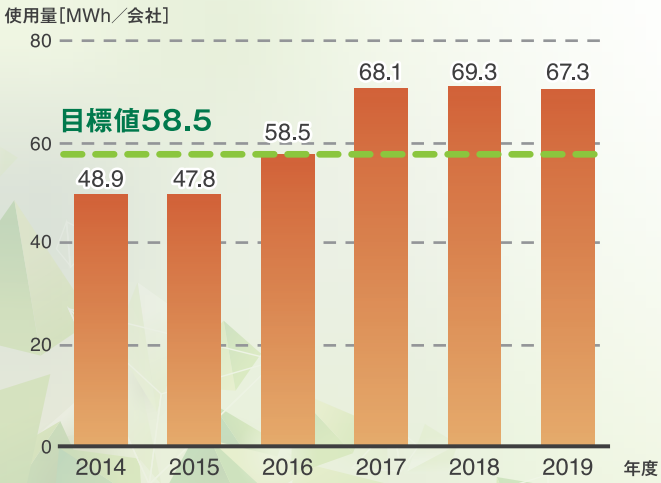
生産工場における電気使用量の推移



■事務所における電気使用量の削減

事務所における省エネルギー活動として、冷暖房の適切な温度設定、クールビズ・ウォームビズの実施等による電気使用量の削減に取り組んでいます。2019年度の会社単位における電気使用量は、環境目標「過去5年平均対比1%削減」に対し、15.0%増となりました。
また、当社本社、東邦岩手及び東邦福島において使用する電力の一部は太陽光パネルより供給し、購入電力の低減を図っています。2019年度の発電量は19.5MWhであり、炭酸ガス排出量に換算すると10.3tの削減となりました。

事務所における電気使用量の推移



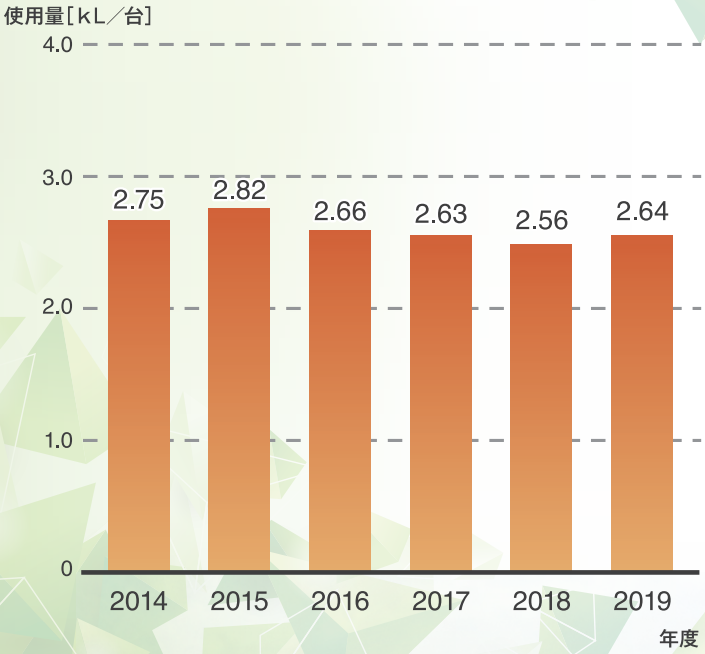


本社設置太陽光パネル

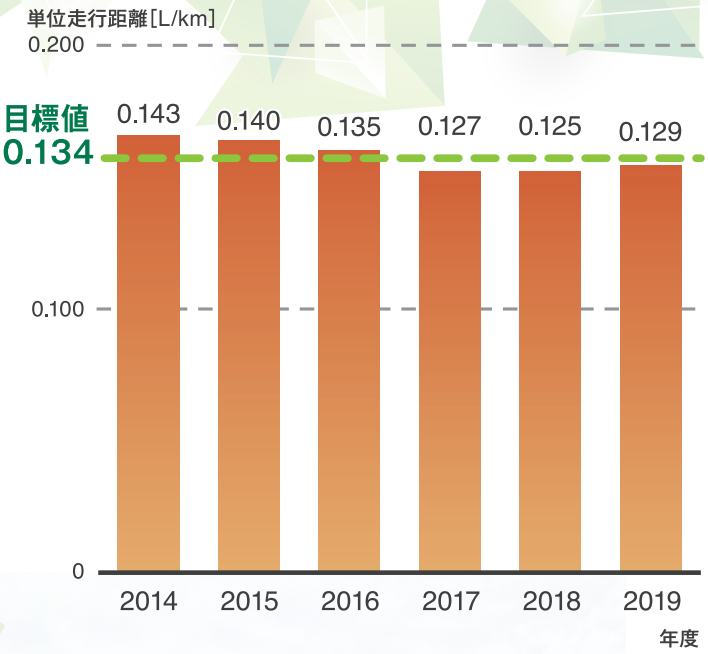
自動車（サービスカー）における燃料使用量の削減

営業および保安サービス等に使用する自動車の燃料使用量は、エコカーの導入、エコドライブの実践等により、環境目標である「過去5年平均対比1%向上」に対し3.7%向上となりました。

サービスカー燃料使用量の推移



単位走行距離当たりの燃料使用量の推移

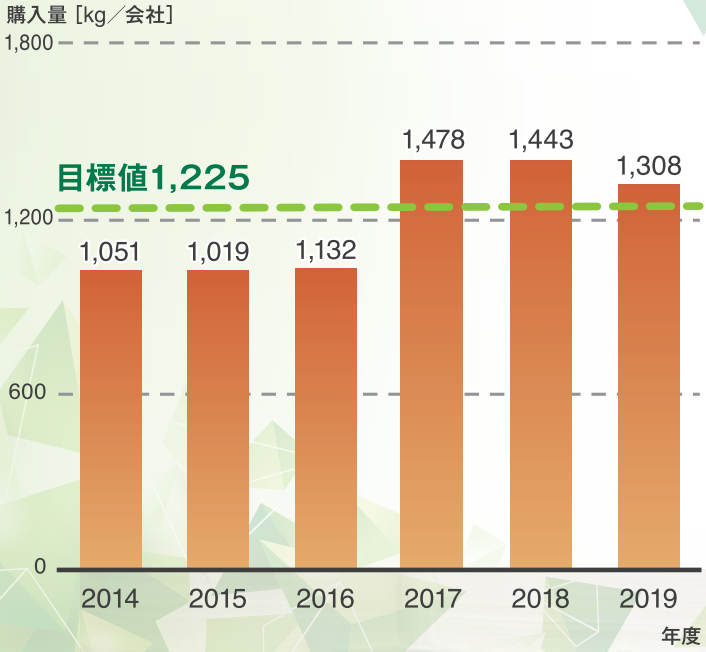




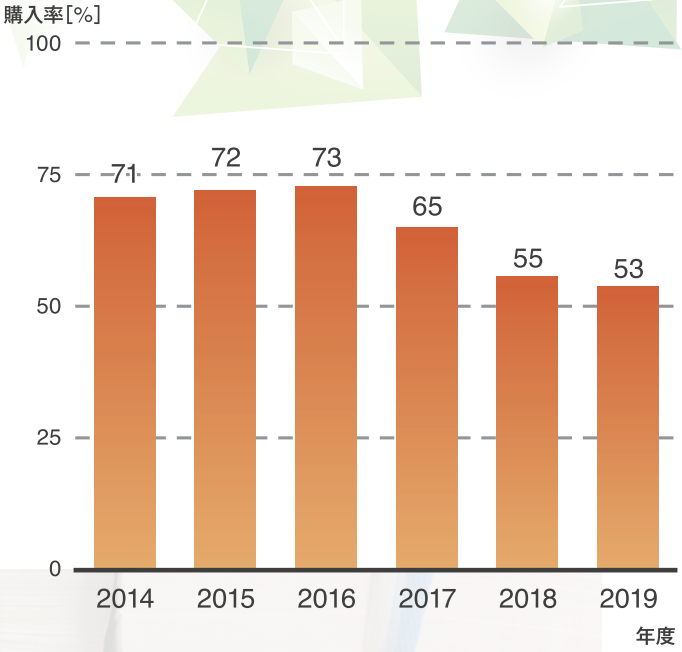
省資源・リサイクルの推進 ■OA用紙使用量の削減

両面印刷の実施、裏紙の利用等による紙資源の削減、
および再生紙等グリーン製品の購入促進により、省資源化を推進しています。
2019年度の会社単位におけるOA用紙の使用量は、環境目標「過去5年平均対比1%削減」に対し
6.8%増となりました。また、2019年度のグリーン購入率は53%でした。

OA用紙購入量の推移



グリーン購入率の推移

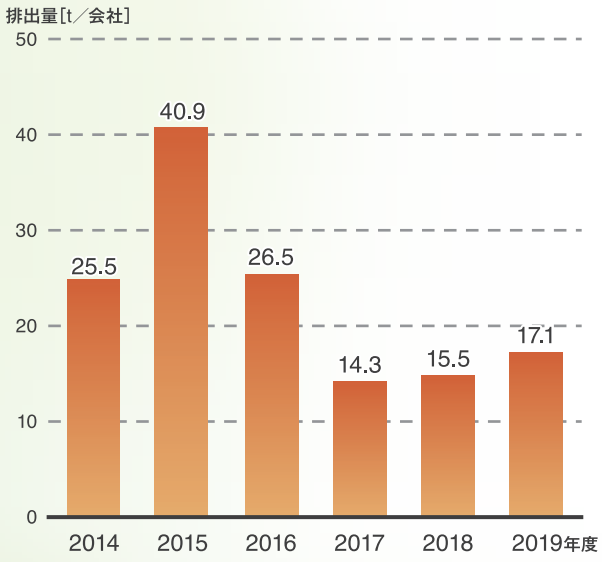




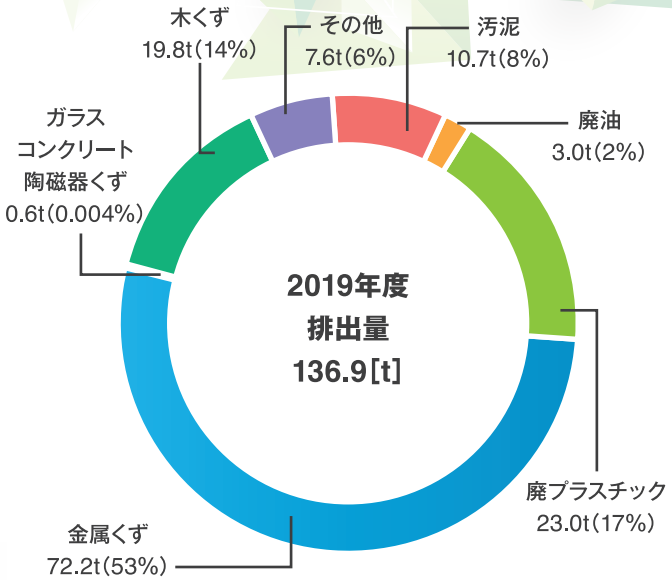
■産業廃棄物排出量の管理およびリサイクルの推進

当社では産業廃棄物の排出量を管理するとともにリサイクル推進のため、産業廃棄物処理業者のリサイクル率を調査し、排出した産業廃棄物のリサイクル状況の把握に努めています。
2019年度より新たに加えた東邦興産(株)は、廃油の収集運搬及び再生処理を事業として行っており、産業廃棄物の排出量が他の生産工場に比べて多量であるため、全体の集計から除外しています。
東邦興産(株)の産業廃棄物排出量は562.9t(内、廃油539.6t(95.9%))でした。

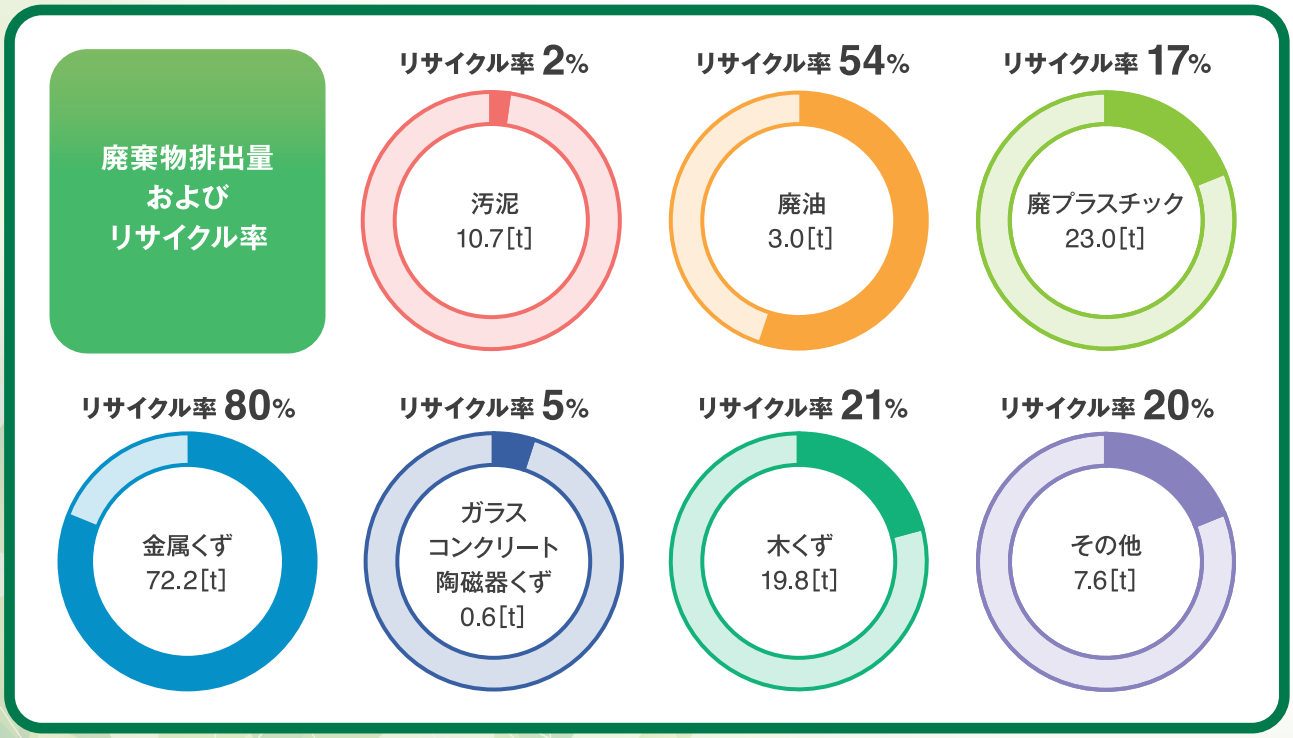
産業廃棄物排出量の推移



産業廃棄物排出量



2019年度の産業廃棄物全体におけるリサイクル率は50%でした。



その他環境負荷物質の管理

■化学物質排出量の管理

PRTR法(注1)対象物質、大気汚染防止法対象VOC(注2)、およびオゾン層保護法対象フロン(HCFC-22)について、排出量の削減に向けた化学物質の管理に努めています。

2019年度 化学物質排出量(13.5t)

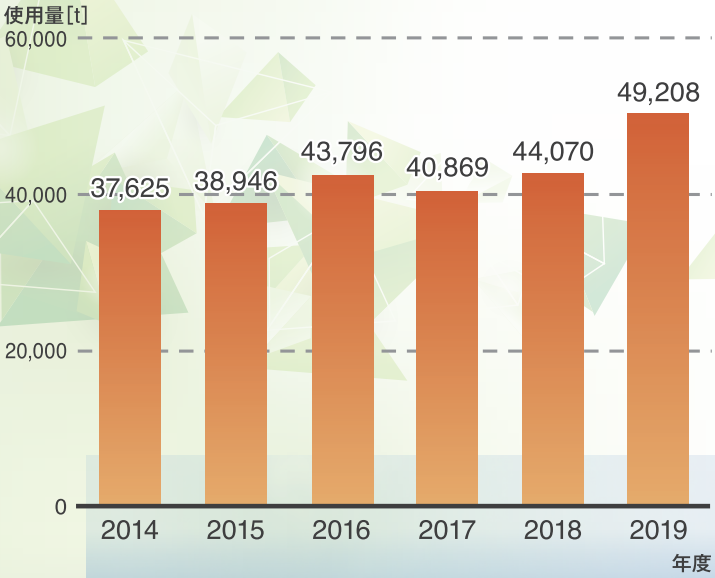
PRTR法対象物質	VOC(注3)	HCFC-22(注4)
2.0t	13.3t	0kg

(注1)PRTR法:化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(化管法)
(注2)VOC:揮発性有機化合物　(注3)PRTR法対象物質を一部含む　(注4)冷凍機メンテナンス時の補充量

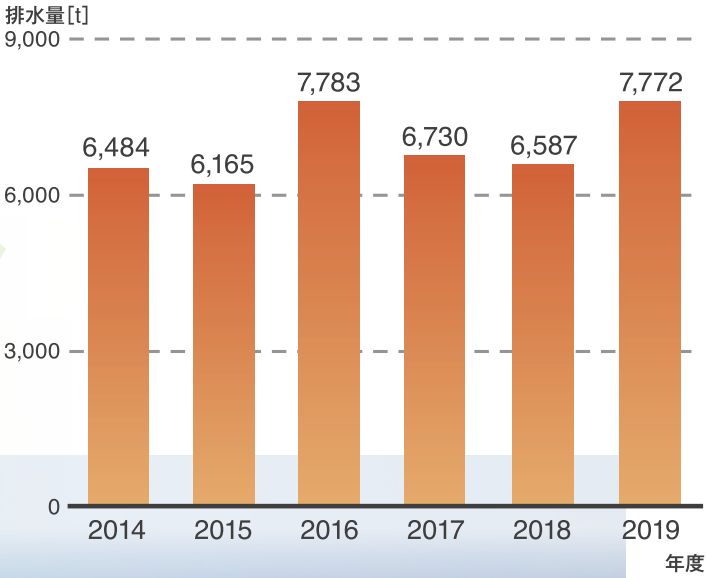
■工業用水使用量・排出量の管理

当社多賀城工場の冷却塔に使用する工業用水の使用量及び排水量(イン・アウト)を測定し、管理しています。

工業用水使用量の推移



工業用水排水量(下水)の推移





その他の取組み

事業所内照明のLED化推進

東邦アセチレングループでは省電力による環境負荷低減を目的として
照明のLED化を進めております。
2019年度は八戸事業所の照明を蛍光灯からLEDに更新しました。
今後も引き続き環境負荷低減の活動を推進して参ります。



LED照明（八戸事業所）

地域清掃活動

社会貢献活動として宮城県多賀城市での自主的な地域清掃活動を実施しました。
地域清掃活動には仙台地区の勤務社員ほぼ全員が参加し、
会社周辺に投棄された空き缶等ごみの回収を行いました。
今後も引き続き積極的に美化活動を実施し、地域社会への貢献に努めて参ります。



清掃活動の様子

2020年度環境目標

2020年度の環境目標は、2019年度の課題をもとに定め、
活動内容の周知と実施を徹底していきます。

2020年度 環境目標

環境目的	課 題	環境目標	基準年度	対象会社
地球温暖化防止	主要生産工場における省エネルギーの推進	電力原単位前年度対比1%削減	2019年度	当社生産工場
	事務所における省エネルギーの推進	過去5年平均対比使用量1%削減	2015年度～2019年度	当社および当社グループ会社
	自動車（サービスカー）における燃費の向上	過去5年平均対比燃費1%向上	2015年度～2019年度	当社および当社グループ会社
省資源の推進	OA用紙の使用量削減	過去5年平均対比使用量1%削減	2015年度～2019年度	当社および当社グループ会社





東邦アセチレン(株)
TOHO ACETYLENE CO.,LTD.